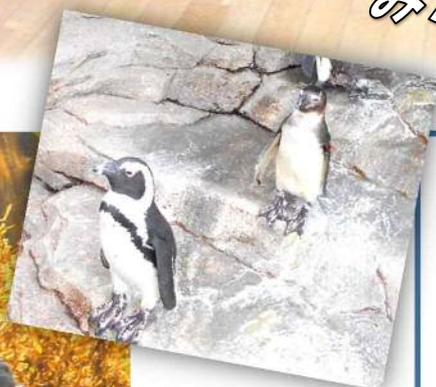




南光台通信 第15号



みんなそろって 記念撮影♪



東北福祉大学サークル「そら」さんの企画で、学生さんとレスパイトの利用者さん、介護人で「仙台うみの杜水族館」へ行ってきました。
楽しい外出でした。素敵な時間をありがとうございました。

発行： 社会福祉法人 つどいの家 地域生活サポートセンターぴぽっと南光台
発行責任者： 飯田 克也 (管理者) 発行日：2018年11月22日
住所： 〒981-8003 仙台市泉区南光台3丁目1-24
連絡先： TEL022(779)7341 FAX022(779)7342

管理者あいさつ



皆さん、こんにちは🎵

9月より「びぼっと南光台」センター長に着任しました**飯田克也**です。
グループホーム（法人内5ヶ所）の管理者も務めております。

わたしはつどいの家に入職し、10年以上になりますが、最初の数年間
仙台つどいの家（移転前の泉区南光台東）に勤務しておりました。

「びぼっと南光台」を利用されている方々のなかには、当時、支援学校
から実習に来ていた方や仙台つどいの家で一緒に過ごした方々がいらっしゃるので、とても懐
かしく同時に時の流れを感じます。

また、その頃、仙台つどいの家では地域探検と称して、地域の店舗の駐車場等をお借りして、
ガレージセールを行っていました。ここ南光台3丁目でも地域のお餅屋さん（現在は閉店され
てしまいましたが…）等と一緒にいったこともあります。仙台つどいの家から少し離れていま
したが、『南光台を盛り上げよう』と町内の方々が温かく迎えてくださいました。

南光台は、当法人をはじめいくつかの福祉関係の事業所や医院、商店等が
集まっているエリアです。これからも地域の方々とつながりを大切にしながら、
南光台を盛り上げていきたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

「仙台つどいの家に勤務していた頃」↑

…中学生がかなり可愛らしく描いてくれました



レスパイト及びヘルパー利用について（お願い）

日頃より、当事業所のサービスをご利用いただき、ありがとうございます。

さて、インフルエンザ等の感染症が流行する季節となりました。



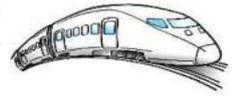
当事業所でも感染症予防のため、手洗い、消毒などを徹底しておりますが、皆様も健康管理
に十分にご注意いただき、以下の事項にご協力をお願いいたします。

- ★発熱、せき、倦怠感などの症状がある場合は、早めに医療機関の受診をお勧めいたします。
- ★インフルエンザ等の感染症と診断された場合には、他の方への感染を防止するため医師の許可があるまではサービスの提供を停止いたします。（学校保健安全法に準じる期間）
- ★ご家族の方に感染された方がいる場合にも、ご利用をお控えいただく場合があります。
- ★サービス利用時に感染症等の症状が確認された場合には、サービスの提供を停止させていただきます場合がありますので、ご了承ください。

職員一同、「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」よう感染症予防に取り組みます。
皆様に安心してサービスを利用していただけるよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。



視察研修に行ってきました！

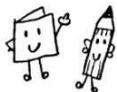


横浜市「社会福祉法人訪問の家」と、さいたま市「社会福祉法人さくら草」へ視察研修に行ってきました。

「社会福祉法人訪問の家」では、「指定特定相談支援事業所PAC」でお話を伺いました。PACとは「Personal Assistance Center」の略で、『一人ひとりが自分らしく暮らし続けていくこと』について、生活全般を支援している事業所です。横浜市栄区にあるグループホーム8件の利用者30名に特化した計画相談と、GHの運営、ヘルパーの派遣を行っています。

以前は、法人内で、「グループホーム部門」と「ヘルパー派遣部門」に分かれていたのですが、一人の利用者に対して支援者の連携を深め、共通の課題を持って支援を進めていく為に、両事業を一元化したそうです。その後相談事業も開始し、利用者の生活を3事業で支援する体制になったとのことでした。

グループホームの利用者は、しょうがいの重い方が多く、医療的ケアが必要な方も数名いらっしゃいます。PACでは、法人内の通所のナースや診療所と連携することで、入居者が安心して医療的ケアを受けられる体制を整えており、また医療的ケアに携わるヘルパーの育成にも励んでいます。



「社会福祉法人さくら草」は、さいたま市と川口市を中心に事業を展開している法人です。今回は、主に医療的グループホーム「てんハウスぐりん」を見学して来ました。



「てんハウスぐりん」はグループホームとショートステイを行っている事業所で、入居者は医療的ケアが必要な方が殆どです。入居者は、世話人、ヘルパーの他、専従のナース2名と共に生活されています。

グループホームの中は広く、フロア内の仕切りも少なく、一目で周囲の状況が見渡せるようになっています。洗面台も車椅子での移動がスムーズにできるくらいの広さで、浴室にもトイレにも移動用のリフトが備え付けてありました。また、トイレは前後左右が壁から離れて設置されており、どこからでも介助者が支えられる構造になっていました。

このグループホームを始める際、入居者の親御さんは、心配であまり気乗りがしない方も多かったそうで、不安を取り除く為に、最初は親御さんも一緒に泊まったそうです。そこから、2泊、3泊と泊数を増やしていき、現在は皆さん大体週4泊されており、今では親御さんも『グループホームに住めてよかった。』と感じているそうです。



短い時間でしたが、互いの情報交換は多岐にわたり、人材の募集や育成、本人のニーズを探る取り組み、労働環境の整備など、共通の課題や悩みに頷いたり、考えさせられたりしました。

しかし、どちらの法人の職員も前向きで明るく、利用者一人一人の課題に寄り添う丁寧さや、新しい取り組みに対する柔軟さが印象に残りました。

地域は離れていても同じように頑張っている仲間の姿を見て、改めて刺激を受けました。

お忙しい中にもかかわらず、視察研修を受け入れてくださった「訪問の家」「さくら草」の皆様
に感謝しております

(ヘルプ・高橋)



「おつつみの会」やっています

～紙や紐が素敵な小物に変身♪



毎回たくさんの方にご参加いただいております「みえせんせいのお包みの会」今回は特別編!!!
平日はお仕事で参加できない方のために！題して『大人の休日くらぶ』（どこかできいたことあるような…）
を日曜日に開催いたしました。カレンダーも残り1枚か2枚・・・お正月ももうすぐ。
と、いうわけでお正月にも飾れる「吊るし飾り」を作りました。

いつもは賑やかな会ですがあまりにも集中し過ぎて無言になりだんだん欲も出てきて「水引き」で「梅結び」
の結び方を教えてもらうなどハイレベルな会と、なりました。

いつもの「お包みの会」も今年度は、あと4回です。

青い髪的美枝先生の楽しいおしゃべりと素敵な笑顔で元気になれる水曜日。

みなさまのご参加をお待ちしております。



今後の予定

1 1月28日 1月23日

2 2月27日 3月27日

10:00~12:00

参加費（材料代）500円～

つどいの家後援会主催 共生社会を考えるセミナー

『地域の中でありのままに生きる』～共生社会をめざして～

知的障がいを持つ自閉症の長男徹之氏の子育てを通して、心のバリアフリーとノーマライゼーション実現
の実践を続ける明石洋子氏（社会福祉法人あおぞら共生会副理事長）の講演を聴いて



私自身、2人の子を持つ親として、とても心に響く内容でした。

なぜ伝わらないのか？なぜ理解してもらえないのか？親子でありながら年代ごとに多くの事に悩みながら
日々子育てをしてきました。つい先日も意見の食い違いから中学3年生の娘と強い口調で言い合ったば
かりでした。

講演を聴いて一番に思ったことは、障がいの有無にかかわらず子育てに共通するのは、お話の中に何度も
出てきた『自己決定』というキーワード。難しく考えることが苦手な私にはとてもシンプルでストレートな
この表現がずっと入ってきたように感じました。親はいつでも子供に幸せでいてもらいたいと親の意見を
押し付けがちですが、子供たちにも強い意志と意がある。肥料は与えずに適度な水と距離間で本人の
好きなことをエネルギーに変えていけるような子育てを実践していきたいなと感じました。

また、息子さんの水へのこだわりを止めるのではなく環境を整えることで強みに変えて、最後には水を使
う仕事として周りのできないことを素直にできる大人に成長し、環境を支えてきた周りの方たちに元気を
与える存在になっていったという話がとても素敵だと思いました。

早速、帰り道でレンタルショップに立ち寄り、お薦めとして紹介されていた「レインマン」を借りて久し
ぶりに家族で映画鑑賞をしました。

（レスパイト・見玉）



介護人さん・ヘルパーさん募集



★介護人は、ぴぼっと南光台の敷地内にある「すてっぴ・はうす」(レスパイトサービス事業)にて、しょうがいのある利用者と、利用者の意思に沿って一緒に過ごします。

必要に応じて、排泄や食事の介助もします。

～ 手当 ～

日中介護 時給 900 円、宿泊介護 7,400 円

～ 応募条件 ～

資格は問いませんが面接の上、すてっぴ・はうすと生活介護事業所等で研修をしていただきます。(担当：児玉・佐藤)



★ヘルパーは、しょうがいのある方へのホームヘルプサービスを行う支援者のことです。「ぺんたす」へ登録をして、利用者宅に伺い身体介護(入浴介助など)、家事援助(料理・掃除など)や通院に同行したり、利用者の行きたいところへ一緒に外出したりします。

～ 手当 ～

日中(8:00~18:00) 時給 1,100 円

※早朝・夜間の割増あり。

～ 応募条件 ～

ホームヘルパー1、2級、介護福祉士、看護師、介護職員初任者研修を修了した方です。

(担当：高橋・佐伯)



◎詳しくはお気軽にお電話ください。



022-779-7341

～ 編集後記 ～

秋も深まり、夜寒が身にしみるところとなりました。



最近、芸術の秋ということで「針金を使って物作り」を始めた長谷川貴弘です。以前テレビで針金を使って動物などの影絵を作る様子を見て興味深く、「針金」をアートとして取り扱うことに感銘を受け、そのアーティストの方の作成時の集中力の凄さに圧倒されました。

その後、私自身も真似事ながら色々「針金」で何かできないかと模索しながら物を作っていますが、少しずつ集中力が増してきたような気がします。



最近、ぴぼっと南光台では職員の研修に行く機会も増え様々な研修に参加しています。私自身もこの間、強度行動障害支援者研修に参加してきました。しょうがいのある方々の理解を深めたり、どうすれば、より気持ちを汲み取ることができるのか、当たり前と思っている事でも伝えなければ伝わらない事がある事等、改めて色々考える機会となりました。また、これからもより良い支援ができるように向上心を忘れず利用者の方々に寄り添う支援を行っていきたいと思っています。

今年も残すところあと2か月をきりましたが、これからも職員一同、よりよい支援を行っていくよう精進して参りたいと思います。

(ヘルプ・長谷川)